

住宅用分電盤の特長

銅母線の容量

住宅規格による母線最小太さ (IV電線の場合)			(205-11 内線規定による幹線最小太さ (IV電線の場合)	(2-18表) 最大想定 負荷電流	テンパール住宅盤の 母線太さ	
住宅盤の 定格電流	主開閉器の 定格電流	断面積 JIS C 8328	断面積 (種)	断面積	IV電線	銅バー
30A	30A	8mm ²	30A	2.6mm ²	8mm ²	12mm ² 注1)
60A	40A	14mm ²	40A	8mm ²	14mm ²	15mm ²
	50A		50A	14mm ²		
	60A		—	—		
100A	75A	38mm ²	75A	22mm ²	38mm ²	30mm ² 注2)
	—		90A	30mm ²		
	100A		100A	38mm ²		

一般に導体の許容電流は、導体を流れる電流の大きさと温度上昇の関係で定められます。

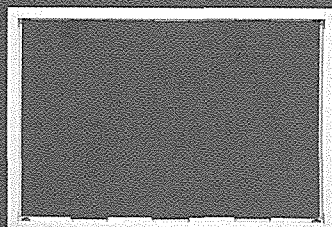
JIS C8328, JWDS0007では、住宅盤に定格電流を規定の方法で通電した時、その温度上昇値の上限が50℃以内になるよう規定されています。

テンパール住宅盤の銅母線は、全ての器種についてこの規格に適合しており日本配線器具工業会の認定試験にも合格しております。

注1) テンパール住宅盤の30A定格の分電盤に使用されている銅母線は、日本住宅公団デテールシートに記載された仕様(容量40A)を満足しており、内線規定に定められる最大想定負荷電流40Aにも耐えられる容量をもっております。

2) 100Aで30mm²の銅バー母線を使用しておりますが、これはJIS C 8328の6・3-(25・1及びJWDS0007の5・7-(3)6・7表14の銅バー使用の規定により30mm²でも問題なく使用できることを弊社が保証いたしております。

半埋込枠取付器種



半埋込枠

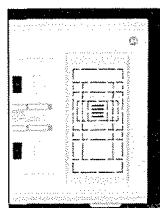
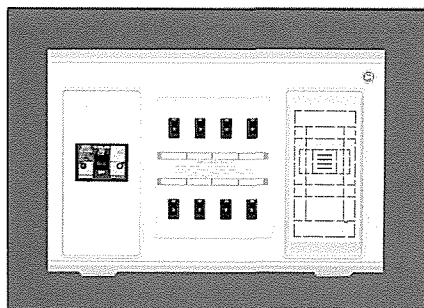
プラスチック製ボックス器種は、露出取付タイプとなっております。

半埋込工事を必要とする場合には、半埋込枠をご使用ください。

(注) 半埋込枠の使用できる器種は、カタログ中に半埋込枠取付可能の表示をしております。それ以外の器種には装着できませんのでご注意ください。

フリースペース (付属機器取付けスペース)

外観(SPカバーを取付けた状態)



内装機器に合わせてSPカバーのパネルカットを折り取ってください。

フリースペース付 (VG3506P等) 器種のフリースペースには温水器用ブレーカ、漏電しゃ断器、配線用しゃ断器等の増設、ブザ、チャイムトランス、タイマーの設置等、広範囲にご利用いただけます。

- 分電盤の通電電流に大きく影響を及ぼすような分岐回路の増設は避けてください。
- フリースペースのパネルカットには、テンパールの配線用しゃ断器、漏電しゃ断器を取りつけていただければ、隙間を生じることなくきれいに仕上がります。

フリースペースに組込むことができる機器は、JWDS0007によりますと

- ①別系統の電源の引込開閉器
- ②分岐開閉器の2次側に設けられる機器
- ③分岐回路数が右表をこえない範囲での分岐回路の増設
- ④負荷電流が1A以下の小勢力回路を母線に直接接続して設ける機器に限られますのでご注意ください。

相線式1φ3Wで主開閉器の付いた住宅盤の最大分岐回路数

主開閉器の定格電流	分岐回路数
30A	6
40A	8
50, 60A	12
75A	14
100A	18

※フリースペース取付用木台寸法(mm) H220×W90×D18